

# 秋の中島千波のコレクション展 No.1

花の屏風：桜・椿・牡丹・菖蒲・紅葉の花達／おもちゃ絵・おもちゃ・花のデッサン／山シリーズ：エトナ山やサントヴィクトワール山／  
抽象作品：パリと東京／学生時代：社会シリーズ：人物シリーズ／木版画：ピスクドール（順序別）

2019, 9/20 FRI. 12/3 TUE. 会期中無休 午前9時～午後5時

一般500円／高校生250円  
(中学生以下無料)

おぶせミュージアム・中島千波館

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施595 TEL:026-247-6111



# 秋の中島千波の コレクション展 No.1

2019, 9/20 FRI. 12/3 TUE. 会期中無休 午前9時～午後5時



花鳥画、人物画、挿絵などさまざまなジャンルの作品制作を行う、小布施出身の日本画家、中島千波(1945～)。今年、画業50年を迎えました。本展では、当館のコレクションを中心に、新発見された「衆生シリーズ」の作品を含め、幅広い制作活動を振り返ります。

学生時代、主に東京藝術大学に通っていた頃の作品は、西洋画家のマグリットに影響を受けたものや、日本画という画材にとらわれず、油彩画や版画といったジャンルに挑戦したものがありません。今回は試行錯誤した時代の、貴重な作品も展示します。中島千波というと花鳥画、特に桜の絵を描く画家のイメージが強いですが、この展示を通して新たな一面を見ていただけたらと思います。どうぞゆっくりとご鑑賞ください。

## 中島 千波



1945年長野県小布施生まれる。

東京藝術大学(日本画専攻)大学院修了。

1992年、47歳の時に郷里である小布施町に町立の「おぶせミュージアム・中島千波館」が開館する。

2013年3月に、19年間勤めた東京藝術大学の教授を退任し、現在は自由に作品の制作を行っている。

東京藝術大学名誉教授。小布施町名誉町民。

最近では、日本各地の一本桜の屏風作品と、新しいモチーフである世界の「富士山」(火山)を求めて、イタリア、ロシア、ニュージーランドやアメリカ等に精力的に出掛けている。

2012年には、公募展「アーティストグループ風一」を立ち上げ、7mの大作と、45歳までという厳しい条件の中、若い作家の発表の場を作っている。

## 会期中のイベント

2019,  
9/20  
Fri.

### 作家による ギャラリートーク

中島千波先生と展示会の会場を  
歩きながら作品の解説を聞きます。

参加費 無料(入館料のみ必要)

時間 13:00～

2019,  
10/5  
Sat.

### 要予約 ワークショップ 「花のデッサン」

秋の花のスケッチをしてから、  
水彩で色をつけたり、  
色鉛筆で描いたりしましょう。

参加費 1,500円(材料費・入館料込み)

時間 13:30～16:00

2019,  
11/2  
Sat.

### 要予約 ワークショップ 「土人形の絵付け体験」

中野市、日本土人形資料館の方から  
「土人形」の絵付けを教えてくださいながら、  
絵付けを体験します。

参加費 1,000円(入館料込み)

時間 13:00～15:00



### 【アクセス】

上信越自動車道 信州中野I.C.より車で10分  
上信越自動車道 小布施スマートI.C.より車で5分  
長野電鉄小布施駅より徒歩12分

料金  
一般 500円  
高校生 250円  
(中学生以下無料)

※障がい者手帳、療育手帳等をお持ちの方は半額、20名以上の団体1割引



おぶせミュージアム・中島千波館

〒381-0201長野県上高井郡小布施町大字小布施595 TEL.026-247-6111